

第二〇一回ペン川柳会

令和三年二月二十三日

お題 「飛・飛ぶ」

■ 塚田 (拿々)

だだ

飛沫よけ対策したが客は来ず
週刊誌不倫夜遊び乱れ飛ぶ

■ 浜田 (我々好)

ウイスキー

森の火事飛び火で菅笠焼け焦げた
ツバ飛ばし旧交温めクラスタ

■ 松谷 (零門)

れいもん

ローカル線飛び交う言葉お国どこ
飛び乗った終電目覚め終点で

■ 八木 (明迷)

めいめい

金星も座布団飛ばぬ無観客
飛ぶ鳥を落として墮ちる一発屋

■ 山縣 (安兵衛)

やすべえ

記憶飛びとんと覚えがございません
足利と青梅を結ぶ飛び火かな

■ 三春 (火酒)

ウオッカ

癩癩の飛び火でつける爛一本
わきまえぬ飛んでるオンナ売れてます

■ 西川 (酔雅)

すいが

噂飛ぶ昔転勤今介護
飛び跳ねる孫を追いかけて杖をひく

■ 曾山 (酪帝) めいてい

飛ぶ鳥を落として食べる塩とタレ
くやしいが株が飛びはね好きにしろ

■ 細谷 (損得) そんとく

飛行機が部品落として評判も
飛んでいると言われて今度は落ち込んだ

■ 安藤 (晃二) てるつぐ

ふるさとへ高飛びされて手足出ず
春空にゴム屋ぽっかり飛行船

■ 大野 (だし)

この次は核弾頭が飛んで来る
橋本は小池知事への王手飛車

■ 稲宮 (井波) いなみ

飛来した今次の肺炎最凶悪
飛沫なしアバター嬢でのリアル感

■ 平尾 (酔深) すいしん

国の為火花飛ばして激論す
想い人心飛ばせど伝わらず

世話人 塚田 實 (拿々) ただ